

参加学会: 第57回高分子討論会

日時: 2008年9月24日~26日

会場: 大阪市立大学杉本キャンパス

発表テーマ: 水溶液中における(Pro-Pro-Gly)₁₀の3重らせん-1本鎖転移挙動

高分子討論会は高分子を扱う全国の研究者達による学会で、発表も数多くの分野に分けられており、プログラムには数え切れない程の発表内容が記載されていました。

今回も前回同様ポスター発表を行いました。前回とは違って、研究の進展や文献調査などから自分の研究に関する知見が増えていたので、個人的には非常にまとまった発表が出来たと思います。発表を聞いていただいた方々も非常に熱心であったために、お互いに有用な知見や情報を交換することが出来ました。

ポスター発表は2日目の40分程度だったために、他の多くの発表を聞くことが出来ました。私の研究は高分子溶液を対象とした理学的かつ基礎的な研究ですが、今回の学会で聞かせていただいた発表には、合成・物性・材料・医療・環境といった非常に幅広い分野に渡っていて、同じ高分子物性といった観点でも結晶・レオロジーといった分野の研究が見られ、研究する対象と研究の手法やアプローチの種類の多さに終始驚かされました。

私の扱っている(Pro-Pro-Gly)₁₀は動物の体内にあるコラーゲンのモデルとなっている試料で、他の発表のタイトルにも数多くコラーゲンという文字が見られました。コラーゲンのゲルは医療に応用出来るとされていて、工学研究者の方々のこのような発表が目立ちました。今回の学会では、コラーゲンゲルの抗癌剤ドラッグデリバリーシステムへの応用、コラーゲンゲルによる角膜の人工形成、モデルペプチドと天然コラーゲンとの特異的な反応についての研究発表を直接聞くことが出来ました。そして、自分の行っている研究が理学的な研究に止まらず、工業的な応用研究への貢献に期待出来ること、そして他の領域に何らかの形で関わりがあることを実感し、自分の研究の重要性というものを少なからず感じる事が出来ました。

最後になりますが、研究に対してご指導、ご指摘をいただいた先生方、諸先輩方を始め、このような機会を与えていただいたインテグレート大学院理学教育プログラムと、それに携わっている方々に感謝いたします。